

# 広域医療の取組について

平成25年9月14日

関西広域連合・広域医療局



# ■「関西広域救急医療連携計画（H24.3月策定）」の概要

## 1 計画の趣旨

府県域を越えた広域救急医療連携の更なる充実に向け、  
広域連合及び構成団体の取組を定め、「安全・安心の医療圏“関西”」  
の実現に資する

## 2 計画期間

平成24年度から平成26年度（3年間）

## 3 本計画に盛り込んだ取組項目

喫緊の課題であり、広域的に取り組むことにより、高い効果が期待できる、  
次の項目を盛り込むこととした

- ◆ドクターヘリを活用した広域救急医療体制の充実
- ◆災害時における広域医療体制の整備・充実

新たな概念

府県域を越えた「4次医療圏・関西」の構築



## ■これまでの主な取組

### ◆ドクターヘリを活用した広域救急医療体制の充実

「3府県（京都・兵庫・鳥取）」、「大阪府」、「和歌山県」に、「徳島県」を加えた連合管内「計4機」のドクターヘリによる運航体制を構築。

#### ● ドクターヘリ未整備地域への運航拡大

連合への事業移管に備えて、

- ・大阪ドクターヘリ→「**京都府南部**」へ運航拡大（H24.10月）
- ・徳島ドクターヘリ→「**淡路島**」も含め運航開始（H24.10月）

和歌山県ドクヘリとの相互応援協定も締結

#### ● 広域連合が主体となった「一体的な運航体制」の構築

「3府県」に続き、「大阪府」及び「徳島県」ドクターヘリについて、平成25年4月1日から**広域連合へ事業移管**

広域連合が主体となった相互補完を可能とする複数機によるドクターヘリの運航体制を構築！



# 関西広域連合管内における ドクターヘリの運航状況

豊岡病院ドクターヘリ  
(KANSAI・こうのとり)



兵庫北部、京都北部、鳥取県東部

徳島県ドクターヘリ  
(KANSAI・藍バード)



徳島県、兵庫県淡路島  
和歌山県一部

大阪府ドクターヘリ  
(KANSAI・もず)



大阪府、京都南部、滋賀県、  
奈良県、和歌山県

和歌山県ドクターヘリ



和歌山県、大阪府、奈良県、  
三重県一部、徳島県一部

※運航範囲はイメージ

## ◆災害時における広域医療体制の整備・充実

「南海トラフの巨大地震」や「近畿圏直下型地震」をはじめとした大規模災害発生時の「**応援・受援体制**」の整備を促進。

東日本大震災での  
支援活動の経験を  
踏まえて

### (1)「災害医療コーディネーター」の養成

刻々と変化する被災地の状況を的確に把握し、医師等の限られた医療資源の適正配置・分配を行うため、被災地において医療支援を統括・調整する「**災害医療コーディネーター**」を設置。

<H25.3月末現在>大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県において、  
「災害医療コーディネーター」を設置 → 滋賀県、京都府も25年度内に設置予定

「災害医療コーディネーター」の役割や業務についての共通理解を図るとともに、顔の見える関係づくりを行うため、本年3月21日に兵庫県災害医療センターにおいて、**合同による「研修会**」を開催。

## (2) 広域災害医療マニュアルの策定

大規模災害発生時の広域連合内の役割及び連携体制を定めた「**関西広域連合応援・受援実施要綱（うち医療活動の実施編）**」を、平成25年3月に広域防災局と連携して策定。

➡ 平成25年2月13日に兵庫県において、本要綱に基づいた図上訓練を広域防災局と連携して実施

## (3) 広域による災害医療訓練の実施

計画に定める医療連携をより実効性の高いものとするため、DMATやドクターヘリ等の参加による「**災害医療訓練**」を実施。

### H24.9.1 「内閣府・広域医療搬送訓練」

南海トラフを震源とする地震や津波により、徳島県・高知県が被災したとの想定の下、連合管内のDMATやドクターヘリをはじめ、中国地方や九州地方からもDMATが参集するとともに、府県域を越えた「広域医療搬送拠点(SCU)」の設置、海上自衛隊護衛艦「いせ」の参加による洋上も含めた広域医療搬送訓練を実施。



### H24.10.28 「近畿府県合同防災訓練」

神戸空港を会場に、東海・東南海・南海地震の発生による津波や大きな揺れによる甚大な被害が発生したとの想定の下、連合管内のDMATやドクターヘリ、消防機関等が参加し、避難訓練や、救出・救助訓練、地域医療搬送訓練を実施。

# ■平成25年度の主な取組

## H25当初予算の状況

	25年度	24年度
▶ 計画の戦略的な推進	【1,732千円】	【1,498千円】
▶ 広域的ドクターヘリの配置・運航	【630,446千円】 (3府県+大阪、徳島)	【212,774千円】 (3府県)
▶ 広域災害医療体制の整備	【192千円】	【116千円】
▶ 救急医療人材等の育成	【1,150千円】	【1,350千円】
計	【633,520千円】	【215,738千円】

ドクターヘリの  
事業移管

対前年度比293.7%、連合予算の52%

## ◆ドクターヘリを活用した広域救急医療体制の充実

### (1) 未整備地域の解消

本年11月に、未整備地域となっている「**兵庫県播磨地域等**」に、  
県立加古川医療センターを基地病院、製鉄記念広畑病院を準基地病院として、  
ドクターヘリの導入を図るとともに、  
一体的な運航を図るため、平成26年4月に広域連合への移管を目指す。

兵庫県立加古川医療センター  
(基地病院)



### (2) 30分以内での救急搬送体制の構築に向けた取組

救命効果が高いと言われる「30分以内」での救急搬送体制の構築に向け、  
「**京滋地域**」への平成28年度までの導入を目指して、  
基地病院の選定等について、引き続き、調整を行う。

**6機体制**

### (3) 二重三重の補完体制の構築

補完体制を構築するため、近隣県ドクターヘリとの**相互乗り入れ**について、検討を行う。

- H25. 5. 27～ 鳥取県中西部において、これまでの「3府県ドクターヘリ」に加え、「島根県ドクターヘリ」が乗り入れを開始し、補完体制が実現
- 「徳島県ドクターヘリ」と「高知県ドクターヘリ」による相互補完体制の実現に向け、協議中

### (4) きめ細やかな運航体制の構築

医師が救急患者に少しでも早く接触し、救命医療を施せるよう、「**ランデブーポイント(臨時離着陸場)**」の確保を図る。



H22末 : 1,404箇所 → H24末 : 1,842箇所 → H26末 : 2,000箇所

目標

### (5) ドクターヘリ搭乗医師・看護師の養成

ドクターヘリの導入効果を最大限に発揮するため、救急現場において必要な知識や技術がしっかりと習得できる、より実践的な「**研修プログラム**」を策定し、基地病院と連携した養成を図る。

## ◆災害時における広域医療体制の整備・充実

### (1)「災害医療人材」の養成

全ての構成府県において、「災害医療コーディネーター」を設置するとともに、本年3月に実施した研修会や図上訓練での課題等を分析し、より実践的な合同研修を徳島県で実施。

#### ■平成26年1月25～26日（予定）

東日本大震災発生時において、医療支援活動を展開した「災害医療ACT研究所※」のノウハウを生かし、構成府県内の災害医療コーディネーターを対象に、救護班の受入、要援護者対策など、実践的な研修を実施

#### ※災害医療ACT研究所

東日本大震災において、数多くの救護チームを束ね、医療救護活動を一元的に行う「石巻合同救護チーム」で多岐にわたる活動を機動的に展開した災害医療のスペシャリストたちが中心となり、震災での経験を後世に伝え、コーディネーターの養成を行うために立ち上げたNPO法人。  
代表：森野一真（山形県立中央病院救命救急センター副所長）



## (2) 広域による災害医療訓練の実施

発災時に機能するよう、DMATやドクターヘリ等の参加による広域的な**災害医療訓練**を実施する。

- 平成25年8月31日：内閣府・広域医療搬送訓練（和歌山県）  
関西広域連合構成府県のDMATが参加し、災害医療訓練を実施  
※参加予定だった和歌山県ドクターヘリ、大阪府ドクターヘリは天候不良のため参加取り止め
- 平成25年10月27日：近畿府県合同防災訓練（滋賀県）  
関西広域連合構成府県のDMATが参加し、災害医療訓練を実施
- 平成25年12月25日：関西広域応援訓練（兵庫県）  
関西広域連合構成府県が参加し、災害時に必要となる応援、受援について図上訓練を実施



発災時にしっかりと機能する訓練の実施

## (3) 原子力災害への対応

東日本大震災における福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、広域防災局とも連携を図りながら、「**緊急被ばく医療**」に係る連携体制について検討を行う。

## (4) 備蓄薬品等の確保

構成府県市において、備蓄している「**薬剤や医療資機材のデータベース化**」を図り、発災時における相互融通を円滑に行う。

## ◆その他の連携課題への取組

### (1) 薬物乱用防止対策

社会問題となっている**違法ドラッグの排除**に向け、検査手法の向上や検査体制の強化を図るため、合同研修会を開催する。

#### ■違法ドラッグ検査担当者合同研修会

日時：平成25年10月25日（予定）

場所：大阪府立公衆衛生研究所

参加：構成府県、連携団体である奈良県、福井県、三重県

目的：違法ドラッグに関する迅速な情報共有を進めるとともに、構成府県等の個々の検査レベルの向上や体制整備を図り、効率的な検査体制の構築を図る

### (2) 専門医療分野における取組

「4次医療圏・関西」の実現のため、**小児医療や周産期医療**の専門医療分野における広域救急医療連携に向け、調査・検討を行う。